

4/9 **喜納翼選手 パラ内定待つ**
島袋市長へ活動報告



車イスマラソンで東京パラリンピック出場を目指す喜納翼選手(字田場出身・中央)が活動報告のため、コーチや関係者らとうるま市役所を訪れました。

現在は持久力強化などのトレーニングを続けながら、5月5日

以降に予定されている代表内定発表を待っているとのこと。喜納選手の後援会長でもある島袋市長は「朗報を期待している」とエールを送りました。

3/29 **長年に渡り子育てをサポート**
瑞慶覧博子氏、県知事賞受賞



本市の母子保健推進員である瑞慶覧博子氏(中央左)が、平成2年からの母子保健推進員として30年間にわたり母子保健の推進・向上に取り組み、母親が安心して子育てができるようサポートしてきたことが評価され、県知事より表彰されました。

4/5 **農林漁業に大きな貢献**
石川浩樹氏 県農林漁業賞受賞報告



市内で野菜農家を営む石川浩樹氏(写真中央左)が沖縄県農林漁業賞を受賞し、島袋市長へ喜びの報告を行いました。

同賞は農林漁業の経営改善、技術の近代化などに成果をあげ、模範となる実績をおさめた農林漁業者の中から特に優秀なものへ贈られる賞です。今年度は石川氏を含め9人の個人と4団体が表彰されました。

4/1 **島しょ地域に新たな拠点**
宮城島にコミュニティー防災センター完成



宮城島宮城小学校跡地にこのほど「宮城島コミュニティー防災センター」が落成し、4月1日から宮城、上原区の自治会活動のほか、児童館機能も有し、学童クラブも同時スタートしました。センターは事務室のほか舞台付集會室、多目的室、調理室などを完備。宮城自治会がセンターの指定管理者となり、上原区も入居して今後の自治会活動が展開されることになっています。

敷地内にはうるま市宮城島介護保険地域密着型サービス施設も開所予定で、子供たちとお年寄りのふれあいを中心に島しょ地域の活性化が期待されます。

3/19 **地域と学校で子ども達を支える**
南原小学校に文部科学大臣表彰



南原小学校が、地域住民と学校が連携した活動の評価され文部科学大臣表彰を受賞。南原小学校で受賞報告会が行われ、嘉手苅教育長や学校関係者、地域住民で受賞の喜びを分かちあいました。

また同校PTA新聞が全国小・中学校PTA新聞コンクールにおいて最優秀賞を受賞したことも報告されました。

4/15 **新型コロナワクチン接種はじまる**
65歳以下の島民も。離島では全国初。



津堅島で、16歳以上の全島民を対象とした新型コロナウイルスワクチンの接種が始まりました。

離島における16歳以上島民を対象としたワクチン接種は全国初となります。人口の少ない離島では高齢者だけではなく、一般住民への同時接種が認められていることから、医療体制が十分ではない津堅島での一斉接種を行いました。

接種初日となる15日には142名が接種。接種を受けた新屋和枝さんは「ワクチンを早く打てて良かった。自分がコロナになることよりも、人にうつすことが怖い。これで少し安心できる」と安堵の表情を浮かべていました。

市では今後、も国が示す接種順位に従いワクチン接種を実施してまいります。

3/26 **復帰記念会館跡地に子育ての拠点**
(仮称)うるま市子どもステーション協定式



発達に不安や遅れがある子どもやその保護者への支援体制を強化することを目的する「(仮称)うるま市子どもステーション施設整備・運営事業」の基本協定式が行われました。同ステーションは復帰記念会館跡地(字喜屋武)に市、タイラホールディングス(株)、(有)INS、遠藤医師の4者による建設および事業運営を予定しています。

4/8 **今日から、いちねんせい!**
うるま市内の小学校で入学式



温かな春の陽気に包まれた4月、市内の小学校で令和3年度の入学式が行われました。

市立天願小学校の入学式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため隣の席と間隔を空け、出席者全員の検温、マスク着用をお願いするなどの対策を講じた上で行われ、145人の児童が新一年生となりました。

緊張した面持ちで入場した新一年生でしたが、これから始まる新たな生活や新しい友達との出会いに胸を弾ませている様子でした。

4/6 **本市初!公立認定こども園が誕生**
あげなこども園オープニングセレモニー



あげな幼稚園と安慶名保育所を統合した「あげなこども園」の開園式が行われました。

市ではこれまで5つの公立幼稚園を公私連携型認定こども園へ移行しておりますが、あげなこども園は、本市初の公立こども園となっています。待機児童の解消だけではなく、幼児教育の質の向上につながることを期待されています。